

料金別納郵便



緑と青

鈴木 徹 + 友美 うつわ展

令和6年11月6日(水)~11日(月) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時 (最終日11日は午後5時まで)

鈴木 徹 [6日(水)、8日(金)~10日(日) 在廊予定]
Suzuki Tetsu

昭和39年 岐阜県多治見市に生まれる
昭和63年 京都府 陶工職業訓練校 成形科 卒業
平成3年 第38回 日本伝統工芸展 入選
平成15年 第50回 日本伝統工芸展 新人賞
平成17年 第1回 菊池ピエンナーレ 大賞
平成21年 第3回 菊池ピエンナーレ 奨励賞
平成24年 第32回 伝統文化ボーラ賞 奨励賞
平成27年 第62回 日本伝統工芸展 NHK会長賞
平成28年 平成27年度 日本陶磁協会賞
令和6年 多治見市無形文化財「織部」指定

廣瀬友美 [8日(金)~10日(日) 在廊予定]
Hirose Tomomi

昭和54年 岐阜県瑞穂市に生まれる
平成14年 南山大学 文学部人類学科 卒業
平成16年 岐阜県立 多治見工業高校 専攻科 修了
平成19年 東海伝統工芸展 入選 (以後10回入選)
織部の心作陶展 入選 (以後3回入選)
平成21年 朝日現代クラフト展 入選
平成23年 織部の心茶陶展 入選 (以後2回入選)
女流陶芸展 入選 (以後2回入選)
平成25年 庄六賞茶碗展 入選 (以後3回入選)
平成27年 陶美展 入選

「工房の芙蓉の花が咲き始めましたヨ」と徹さんに誘われ、長月の残暑厳しい一日、久々に岐阜県の大治見駅に降り立ちました。ムワツとする熱波の歓迎を受け、日本一の多治見の暑さにクラクラです…。工房では、それは美しい芙蓉の花と共に、満面の笑みをたたえた徹さんと奥様の友美さんに出迎えて頂き、美味しい栗菓子とお茶を頂きながら、おしゃべりが止まりません。本当に気分の良いご夫妻です。

徹さんは、緑釉の作品に一貫して挑まれています。私は20年近く、彼の緑釉作品を拝見して来ましたがその緑の色調は微妙に進化し、そのボディは茶陶を主軸に造形作品にも挑まれてきました。私は彼の緑色の付まいが大好きで、茶碗、水指、食器と愛用しております。大寄せの茶会などで、たくさんの茶碗を使う時に、緑釉茶碗があると、茶室が華やき、そして和みます。新宿柿傳でも長く愛用している定番の緑釉丸皿は、どんな料理を盛り付けても、料理が一層美味しく映えます。

一方、友美さんは、長良川の青色をイメージしたという青色の作品を懸命に作っておられます。彼女のうつわは、ご主人の影響もある造形も見受けられ、ご夫婦仲の良さが手に取るようにわかります(笑)。

さて、弊廊で4回目となる徹展は、仲睦まじい本邦初の夫婦展と相成りました。裏面の様な食卓を彩るうつわに加え、茶陶も出品致します。美しい芙蓉の花に見惚れ、後ろ髪を引かれる思いで、工房を後にしました。お忙しい中、恐縮ですが、ご清覧を頂ければ幸いです。

店主 安田尚史

柿伝ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



